

\*2019年度以前の履修登録では「教養教育科目」の授業科目区分となります

専門教育科目 演習科目

授業科目名	ストリートファッション論		科目コード	GA22	配当年次	1	単位	2
担当教員	高島 克子							
<b>科目の概要</b>								
<p>ファッションは、街・ストリートとの関係において、互いに影響を与えながら、例えば原宿・渋谷・銀座・代官山などの話題のエリアとダイナミックな関係を築いている。そしてこの街には、新しいファッションをした(したい)若者が集う。</p> <p>本科目では、キーワードとなる「ストリートファッション」を、戦後から現在にわたる時代の移り変わりとともに現代の女子学生、ヤングファミリーなどの実態や親世代との関係、ファッション都市「東京」の変遷を通じて理解していく。</p>								
<b>科目の到達目標</b>								
<p>①ファッションの歴史的な変遷・循環性について具体的に説明ができ、多角的な観点から時代とどう関わってきたのか捉えることができる。</p> <p>②現代のファッションの変遷を踏まえたうえで、これからのファッションがどのように変化していくか自分なりの考察ができる。</p>								
<b>テキスト</b>	『ストリートファッション論』渡辺 明日香, 産業能率大学出版部, 2011年							
<b>テキストの読み方</b>								
<p>①プロローグおよび第1章に記載されているファッションの特質について理解する。</p> <p>②第2章にあるファッションの循環性を踏まえ、第3章のファッションビジネス、第4章のファッションの変遷、第5章のメディアとファッション、第6章の街とファッションの各章を熟読し、各章で述べられている内容を横断的・立体的に理解する。</p> <p>③第7章の「これからのファッションを考える」を読み、身の回りで起きているファッションが直面している問題を考察し、ファッション以外の事象についてあわせて検証してみる。</p>								
<b>単位修得の方法</b>								
<p>①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p> <p>または、</p> <p>②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。</p>								